



③ 発寒移住記念碑



④ 「史蹟環状石垣之跡」碑



⑤ 発寒屯田兵移住百年記念碑



⑥ 「恩給記念」碑



⑦ 「発寒屯田兵開拓居住地」碑

③ 発寒移住記念碑

発寒開村の礎となった在住武士らへの功績を、その移住を記念して建立されたものです。

所在 Ⅱ 発寒一〇条四丁目春日緑地内。大正十四（一九二五）年建立。

北海道開拓の陰には先人たちの労苦があり、病に倒れる者、海や山で遭難する者もいました。安政四年に入植した在住武士の永田休蔵は、その年の十一月、不幸にして、石狩にあった役所から発寒に帰る途中、石狩浜で大吹雪に遭い波にさらわれてしまったのです。この碑は、志半ばで亡くなった休蔵を悼み、屯田兵の子孫や有志の人々が建立したものです。

② 永田休蔵之碑

ながたき へいぞう

いう、極めて厳しいものでした。在住武士らは、現在の稲荷街道周辺に入植し、農民を募集して開拓に当たりました。所在 Ⅱ 発寒一〇条四丁目春日緑地内。明治二十六（一八九三）年建立。

④ 「史蹟環状石垣之跡」碑

しせき

碑には建立当時の札幌市長・高田富與が在住武士の入植についてつづった文が刻まれています。所在 Ⅱ 発寒一〇条三丁目発寒神社境内。昭和三十四（一九五九）年建立。

⑤ 発寒屯田兵移住百年記念碑

住武士や屯田兵の入植以前から、先住民族の豊かな文化が築かれていたことが想像できます。所在 Ⅱ 発寒一〇条三丁目発寒神社境内。昭和四十三（一九六八）年建立。

この史蹟はストーンサークルとも呼ばれ、先住民族の墳墓の跡といわれるものです。発寒には、今から約七千年前の縄文時代早期には人が住んでいたとみられ、発寒小学校付近から石器・土器が出土しています。先住民族の文化を今に残す史蹟によって、在

明治九（一八七六）年、稲荷街道を中心に、JR線のすぐ南側に、琴似屯田兵村を母村とする三二戸の発寒屯田兵村が置かれ、本格的な開拓が進められました。最初の屯田兵が琴似に入植した翌年のことでした。

